

作目：ダイコン

生育ステージ	気象条件	高温により発生が懸念される障害被害 (赤太字は重要被害項目)	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報
発芽時	高温乾燥時	発芽不良	高温で種の生理代謝が正常に進まなくなる 発芽に必要な水分が不足する		灌水を行う 播き直す		
	高温多湿時	発芽不良	高温で種の生理代謝が正常に進まなくなる 水分過多による酸素不足		播き直す		
生育初期	高温乾燥時	コブ症	放線菌*1 高温乾燥による生理障害*2	コブ症が発生しにくい品種の利用 保水性が高い圃場で栽培する 栽培前に土壌消毒を行う（放線菌が原因の場合） 栽培土壌のpHを下げる（放線菌が原因の場合）			内部褐変が起こりにくい品種については種苗会社各社のHPを参照 *1 https://www.istage.ist.go.jp/article/ktpps1954/1989/36/1989_36_63/pdf/ *2 https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2010342790.pdf

2025年8月時点 農研機構調べ

作目：ダイコン

生育ステージ	気象条件	高温により発生が懸念される障害被害 (赤太字は重要被害項目)	発生要因	予防対策	発生時の対策	補足等	参考情報
根肥大～収穫期	高温乾燥時	内部褐変（赤芯症）	ホウ素欠乏*3 高温ストレスによる活性酸素種の蓄積によって細胞が損傷、崩壊しポリフェノール化合物が蓄積*4	内部褐変が起こりにくい品種の利用 過磷酸石灰を施用する*4	栽培途中で症状を確認することができないため、発生初期に対策をとることは困難	25℃以上の平均気温や30℃以上の最高気温で発生割合が高まる*3	内部褐変が起こりにくい品種については種苗会社各社のHPを参照 *3 https://www.alic.go.jp/content/001159606.pdf *4 https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/2030560108.pdf
		空洞症	根の肥大初期に細胞間に生じた空隙が埋まらないことにより生じる*3		栽培途中で症状を確認することができないため、発生初期に対策をとることは困難		*3 https://www.alic.go.jp/content/001159606.pdf
	高温多湿時	す入り	根の組織の栄養飢餓*3 高温による生育の進みすぎ*3		栽培途中で症状を確認することができないため、発生初期に対策をとることは困難		*3 https://www.alic.go.jp/content/001159606.pdf
		軟腐病	Pectobacterium carotovorum（ベクトバクテリウム カロトボラム）という細菌の感染により発生する*5 飛沫によって、根頭部や下位葉の傷口、害虫の食害痕などから感染が起こる高温時に発生が多く、土壌湿度が高いと発生しやすい*6	耐病性品種の利用 連作を避ける			耐病性品種については種苗会社各社のHPを参照 *5 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/noken/noushi/sindanzi/rei/kensakuitiran/daikonnanpu.html *6 https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84837/2503_09_16_daikon.pdf
		葉腐れ症状	リゾクトニア菌*7 葉内リン酸過多による腐敗*8	圃場の排水対策を行う リン酸の過剰施用を避ける			*7 http://www.agri.hro.or.jp/bouiosho/sinhassei/html/H22/2207.html *8 https://www.istage.ist.go.jp/article/dojo/58/6/58_KJ00001688222/_pdf/

2025年8月時点 農研機構調べ